

# 人間環境大学人間環境学部人間環境学科 教育課程及び履修方法に関する規程

(準拠)

第1条 この規程は、人間環境大学学則第29条に基づき教育課程及び履修方法について定める。

- 2 編入学又は転入学を許可された者の履修方法については別に定める。
- 3 大学院の教育課程及び履修方法については、別に定める。

(授業科目の区分)

第2条 授業科目は、以下の科目に区分する。

- (1) 全学共通科目
- (2) 教職専門科目 (「教職に関する科目」)
- (3) 専攻科目

(卒業単位と卒業論文)

第3条 本学を卒業するためには、前条に定める科目群から以下の必要単位数を含め126単位以上を修得しなければならない。

- (1) 全学共通科目 14単位以上
    - イ 全学共通基礎科目 8単位
    - ロ 外国語科目 4単位
    - ハ 情報関連科目 2単位
  - (2) 専攻科目 90単位以上 (コース共通科目8単位を含む)
    - イ 主専攻科目 専門型70単位、教養型50単位
    - ロ 副専攻科目 12単位
  - (3) 自由選択科目 22単位以上
- 2 主専攻コース専門型を選択した場合は卒業論文の論文審査に合格しなければならない。

(全学共通科目・自由選択科目の履修方法)

第4条 前条(1)に定める科目の履修方法は、各専攻とも以下のとおりとする。

- (1) 全学共通基礎科目  
人間環境学2単位、基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ2単位、日本語リテラシ科目(日本語リテラシⅠ・Ⅱ)2単位、キャリアデザイン科目(キャリアデザインⅠ)2単位を含み、8単位以上修得する。
- (2) 外国語科目  
英語Ⅰ2単位、英語Ⅱ2単位を含み、4単位以上修得する。
- (3) 情報関連科目  
2単位以上修得する。
- (4) 自由選択科目  
自由選択科目は、全学共通科目14単位、主専攻科目70単位、副専攻科目12単位及び他コース科目8単位として選択した科目を除いて、全学共通科目、専攻科目のうちから自由に選択する。
- (5) 単位互換履修生科目  
下記(i)~(iii)で、単位互換履修生として修得した科目の単位は、自由選択科目の単位となる。

- (i) 愛知学長懇話会において締結された「単位互換に関する包括協定書」(平成 14 年 4 月 1 日施行)に基づき単位互換履修生に開放された授業科目。  
この科目への出願資格は本学の 2 年次生以上とする。
- (ii) 本学、鳥取環境大学、京都学園大学及び豊橋技術科学大学において締結された「大学学部教育における『環境教育』共通カリキュラム開発のための戦略的大学連携事業」に係る単位互換についての覚書(平成 22 年 4 月 1 日施行)に基づき単位互換履修生に開放された授業科目
- (iii) 本学と台湾東海大学において締結された「海外の大学との科目等履修生に関する協定書」(平成 19 年 4 月 1 日施行)に基づき単位互換履修生に開放された授業科目

(自然・社会環境専攻の履修方法)

第 5 条 自然・社会環境専攻の第 3 条 (2) 及び (3) に定める科目の履修方法は、以下のとおりとする。

(1) 他コース科目の履修方法

(環境コース)

経営コース、心理コース、歴史・文化コースに配当される選択科目の各 2 単位(合計 6 単位)を修得する。

(経営コース)

環境コース、心理コース、歴史・文化コースに配当される選択科目の各 2 単位(合計 6 単位)を修得する。

(2) 主専攻科目の履修方法

(i) 2 年次に環境コースと経営コースのいずれかを選択する。

(ii) コース演習 I を履修登録する際、専門型と教養型のいずれかを選択する。

(iii) コース演習 III を初めて履修登録する際、専門型から教養型へ変更できる。

(環境コース)

環境コース専門型は別表 1 に定める環境コース科目群から必修科目の単位を含め 70 単位以上を修得する。

環境コース教養型は別表 1 に定める環境コース科目群から必修科目の単位を含め 50 単位以上を修得する。

(経営コース)

経営コース専門型は別表 1 に定める経営コース科目群から必修科目の単位を含め 70 単位以上を修得する。

経営コース教養型は別表 1 に定める経営コース科目群から必修科目の単位を含め 50 単位以上を修得する。

(3) 副専攻科目の履修方法

自然・社会環境専攻以外の他の 2 専攻から 1 コースを選択し、(1)で修得した単位と合わせた単位が副専攻科目の単位となる。

(4) 自由選択科目の履修方法

第 3 条 (1)、(2) に定める修得単位数として選択した科目を除いて、全学共通科目、専攻科目のうちから自由に選択し 22 単位を修得する。

(5) (2)の主専攻科目で専門型を選択した場合は、卒業論文の論文審査に合格する。

(心身環境専攻の履修方法)

第6条 心身環境専攻の第3条(2)及び(3)に定める科目の履修方法は、以下のとおりとする。

(1) 他コース科目の履修方法

環境コース、経営コース、歴史・文化コースに配当される選択科目の各2単位(合計6単位)を修得する。

(2) 主専攻科目の履修方法

(i) 2年次に心理コースを選択する。

(ii) コース演習Ⅰを履修登録する際、専門型と教養型のいずれかを選択する。

(iii) コース演習Ⅲを初めて履修登録する際、専門型から教養型へ変更できる。

(心理コース)

心理コース専門型は別表1に定める心理コース科目群から必修科目の単位を含め70単位以上を修得する。

心理コース教養型は別表1に定める心理コース科目群から必修科目の単位を含め50単位以上を修得する。

(3) 副専攻科目の履修方法

心身環境専攻以外の他の2専攻から1コースを選択し、(1)で修得した単位と合わせた単位が副専攻科目の単位となる。

(4) 自由選択科目の履修方法

第3条(1)、(2)に定める修得単位数として選択した科目を除いて、全学共通科目、専攻科目のうちから自由に選択し22単位を修得する。

(5) (2)の主専攻科目で専門型を選択した場合は、卒業論文の論文審査に合格する。

(歴史・文化環境専攻の履修方法)

第7条 歴史・文化環境専攻の第3条(2)及び(3)に定める科目の履修方法は、以下のとおりとする。

(1) 他コース科目の履修方法

環境コース、経営コース、心理コースに配当される選択科目の各2単位(合計6単位)を修得する。

(2) 主専攻科目の履修方法

(i) 2年次に歴史・文化コースを選択する。

(ii) 日本の文学演習Ⅰ(現代文)又は社会・歴史演習Ⅰを履修登録する際、専門型(社会・国語)と教養型のいずれかを選択する。

(iii) 卒業演習Ⅰ(国語)又は卒業演習Ⅰ(社会)を初めて履修登録する際、専門型から教養型へ変更できる。

(歴史・文化コース)

歴史・文化コース専門型は別表1に定める歴史・文化コース科目群から必修科目の単位を含め70単位以上を修得する。

歴史・文化コース教養型は別表1に定める歴史・文化コース科目群から必修科目の単位を含め50単位以上を修得する。

(3) 副専攻科目の履修方法

歴史・文化環境専攻以外の他の2専攻から1コースを選択し、(1)で修得した単位と合わせた単位が副専攻科目の単位となる。

(4) 自由選択科目の履修方法

第3条(1)、(2)に定める修得単位数として選択した科目を除いて、全学共通科目、専攻科目のうちから自由に選択し22単位を修得する。

(5) (2)の主専攻科目で専門型を選択した場合は、卒業論文の論文審査に合格する。

(開設授業科目)

第8条 本学が開設する授業科目は、別表1のとおりとする。

(履修科目の登録の上限と制限)

第9条 1年間に履修科目として登録できる単位数は50単位以下とする。

- 自由選択科目としてのみ配当されている科目及び卒業要件単位に算入不可の科目は前項の単位数に含めない。
- 3年次配当の各コース演習(卒業研究)科目を履修する為には、前年度までに40単位以上を修得する。
- 演習(卒業研究)は、I、II、III、IV(歴史・文化コースは、日本の文学演習I、II、卒業演習I(国語)、卒業演習II(国語)、もしくは、社会・歴史演習I、II、卒業演習I(社会)、卒業演習II(社会)の順番で修得することとし、同時に、又は飛び越えて履修することはできない。

(成績)

第10条 学則第34条に定める成績は、下記の評価基準により認定する。

評価点等	評語	合否等	評価基準
100～90点	S	合格	学習目標をほぼ完全に達成している(Excellent)
89～80点	A		学習目標を相応に達成している(Very Good)
79～70点	B		学習目標を相応に達成しているが不十分な点がある(Good)
69～60点	C		学習目標の最低限は満たしている(Pass)
60点未満	D	不合格	学習目標の最低限を満たしていない(Failure)

2 学則以外に定める評価は、下記の基準により実施する。

評価点等	評語	合否等	評価基準
試験欠席	E	不合格	試験不受験、課題未提出により成績評価要件を満たしていない(Withdrawal)
授業放棄	F		出席不足等により成績評価要件を満たしていない(Withdrawal)
認定	N	認定	本学以外で修得したもので本学が単位認定したもの(Credit given under Credit provision)

(総合成績評価)

第11条 前条の成績の評価に対して次の各号に掲げるグレード・ポイント(以下「GP」という。)を設定し、不合格の授業科目を含めて、履修科目のグレード・ポイントの平均(グレード・ポイント・アベレージ(以下「GPA」という。))を算出し、総合成績評価を行う。

評語	GP
S	4.0
A	3.0
B	2.0
C	1.0
D	0
E	0
F	0
N	対象外

2 GPAを算出する基準は、次のとおりとする。

$GPA = (\text{授業科目で得た } GP \times \text{その授業科目の単位数}) \text{の総和} / (\text{履修登録した授業科目の単位数の総和})$

3 成績証明書には、GPAは明記しない。

4 GPA対象外授業科目は、次のとおりとする。

- 教職に関する科目
- 成績の評価点が認定となる科目
- 定められた期間に履修取り消しの手続きをした科目
- その他、卒業要件に算入されない科目

附則 この規程は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。  
附則 この規程は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。  
附則 この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。  
附則 この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。  
附則 この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。  
附則 この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。  
附則 この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。  
附則 この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。  
附則 この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。  
附則 この規程は、平成 25 年 10 月 9 日から施行する。  
附則 この規定は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。  
附則 この規程は、平成 26 年 5 月 21 日から施行する。  
附則 この規程は、平成 27 年 2 月 25 日から施行する。  
附則 この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。  
附則 この規程（別表改正）は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。  
附則 この規程（別表改正）は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

別表1

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
授業科目の概要	全学共通基礎科目	人間環境学	1	2			
		基礎ゼミナールⅠ	1	1			
		基礎ゼミナールⅡ	1	1			
		日本語リテラシⅠ	1	1			
		日本語リテラシⅡ	1	1			
		キャリアデザインⅠ	1	2			
		ビジネスコミュニケーション	3		2		
		キャリア形成演習	3		1		
	情報科目	情報実習Ⅰ	1	1			
		情報実習Ⅱ	1	1			
	全学共通科目	外国語科目	英語Ⅰ	1	2		
			英語Ⅱ	1	2		
			英語Ⅲ	2		2	
			英語Ⅳ	2		2	
			英語Ⅴ	3		2	
			英会話Ⅰ	1		2	
			英会話Ⅱ	1		2	
			フランス語Ⅰ	1		2	
			ドイツ語Ⅰ	1		2	
			中国語Ⅰ	1		2	
			フランス語Ⅱ	1		2	
			ドイツ語Ⅱ	1		2	
			中国語Ⅱ	1		2	
		茶道文化論A	2		2		
		茶道文化論B	2		2		
		茶道実習	1		2	複数回履修可。但し卒業要件に算入できる単位は2単位まで。	
	専攻科目	自然・社会環境専攻	地球環境問題概説	※1	1	2	自然・社会環境専攻 環境コース専門型を主専攻コースとする場合は※1印の科目が必修科目となる。
			生命と環境の倫理	※1	1	2	環境コース教養型を主専攻コースとする場合は※6印の科目が必修科目となる。
			基礎数学	※1	1	2	
			基礎生態学	※1	1	2	
			物質と原子(基礎化学Ⅰ)	※1	1	2	自然社会環境専攻 経営コース専門型を主専攻コースとする場合は※2印の科目が必修科目となる。
			物質と生物(基礎化学Ⅱ)	※1	2	2	経営コース教養型を主専攻コースとする場合は※7印の科目が必修科目となる。
			物質と化学反応(基礎化学Ⅲ)	※1	2	2	
基礎生物学			※1	2	2		
自然地理学			※1※5	1	2	心身環境専攻 心理コース専門型を主専攻コースとする場合は※3印の科目が必修科目となる。	
熱・光・エネルギー(基礎物理学)			※1	2	2	心理コース教養型を主専攻コースとする場合は※8印の科目が必修科目となる。	
環境文献講読Ⅰ			※1	2	2		
環境文献講読Ⅱ			※1	2	2		
環境英語文献講読Ⅰ			※1	2	2	歴史・文化環境専攻 歴史・文化コース専門型(国語)を主専攻コースとする場合は※4印の科目が必修科目となる。	
環境英語文献講読Ⅱ			※1	2	2	歴史・文化コース専門型(社会)を主専攻コースとする場合は※5印の科目が必修科目となる。	
環境保全型農業概論			※1	2	2		
環境インターンシップ				3	1		
環境情報実習Ⅰ			※1	2	1	歴史・文化コース教養型を主専攻コースとする場合は※9または※10印の科目が必修科目となる。	
環境情報実習Ⅱ			※1	2	1		
野菜と穀物の育て方			※1	2	2		
農地での土と微生物と肥料のはたらきⅠ			※1	2	2		
農地での土と微生物と肥料のはたらきⅡ	※1	3	2				
植物体内での水と物質のはたらきⅠ	※1	2	2				
資源循環型社会概論		2	2				
資源・エネルギーと文明	※1	2	2				
栄養と体		2	2				
統計の考え方		2	2				

別表1

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			備考
			必修	選択	自由	
授業科目の概要	自然・社会環境専攻 環境コース	環境リスク概論 ※1	2	2		
		土作りと肥料 ※1	3	2		
		植物体内での水と物質のはたらきⅡ ※1	3	2		
		生物多様性 ※1	2	2		
		地球と農地での物質の動き ※1	3	2		
		資源循環の経済学 ※1	2	2		
		防除と共存	3	2		
		機器化学分析の基礎と原理	3	2		
		地球上での水とエネルギーの流れ	3	2		
		農業生態系のしくみ ※1	3	2		
		環境思想	2	2		
		遺伝と育種	3	2		
		食料・農業の法律と政策	3	2		
		水溶液の化学	2	2		
		農地の保全と管理	3	2		
		農業の経営と農作物の流通	3	2		
		環境経営	3	2		
		水と緑の政策	3	2		
		山地災害論	3	2		
		植物形態実習	3	2		
		基礎分析化学実験	2	2		
		環境分析化学実験Ⅰ	3	2		
		環境分析化学実験Ⅱ	3	2		
		大気・土・水の測定の基礎実習 ※1	2	2		
	森林管理実習	2	1			
	農業基礎実習Ⅰ ※1※6	2	2			
	農業基礎実習Ⅱ ※1※6	2	2			
	環境保全型農業実習Ⅰ	3	2			
	環境保全型農業実習Ⅱ	3	2			
	環境コース演習(卒業研究)Ⅰ ※1※6	3	2			
	環境コース演習(卒業研究)Ⅱ ※1※6	3	2			
	環境コース演習(卒業研究)Ⅲ ※1※6	4	2			
	環境コース演習(卒業研究)Ⅳ ※1※6	4	2			
	自然・社会環境専攻 経営コース	経営学概論 ※2	1	2		
		現代社会と経済 ※2	1	2		
		基礎簿記 ※2	1	4		
現代企業論 ※2		1	2			
日本経済と金融 ※2		1	2			
経営学文献講読Ⅰ ※2		2	2			
経営学文献講読Ⅱ		2	2			
経営学英語文献講読Ⅰ ※2		2	2			
経営学英語文献講読Ⅱ		2	2			
キャリアデザインⅡ ※2		3	2			
インターンシップ ※2		3	2			
ビジネス情報実習Ⅰ ※2		2	1			
ビジネス情報実習Ⅱ ※2	2	1				
金融Ⅰ(金融市場) ※2	2	2				
商業簿記Ⅰ ※2	2	2				
工業簿記Ⅰ ※2	2	2				
証券市場Ⅰ ※2	2	2				
管理会計	3	2				
金融Ⅱ(金融理論と政策) ※2	2	2				

別表1

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
授業科目の概要	自然・社会環境専攻 経営コース	商業簿記Ⅱ ※2	2	2			
		工業簿記Ⅱ ※2	2	2			
		証券市場Ⅱ ※2	2	2			
		金融機関の機能と業務 ※2	3	2			
		生活金融(金融資産運用) ※2	3	2			
		財務会計 ※2	3	2			
		税金の仕組みⅠ(税制と所得税) ※2	3	2			
		株式投資理論 ※2	3	2			
		ミクロ経済学Ⅰ	3	2			
		広告の心理学	3	2			
		消費者行動論	3	2			
		税金の仕組みⅡ(相続・贈与) ※2	3	2			
		保険制度 ※2	3	2			
		環境経済学 ※2	3	2			
		不動産論 ※2	3	2			
		年金の仕組み ※2	3	2			
		環境経営	3	2			
		ミクロ経済学Ⅱ	3	2			
		経営分析演習Ⅰ ※2※7	2	2			
		経営分析演習Ⅱ ※2※7	2	2			
		経営コース演習(卒業研究)Ⅰ ※2※7	3	2			
		経営コース演習(卒業研究)Ⅱ ※2※7	3	2			
		経営コース演習(卒業研究)Ⅲ ※2※7	4	2			
		経営コース演習(卒業研究)Ⅳ ※2※7	4	2			
		専攻科目 心身環境専攻 心理コース	心理学概論Ⅰ ※3	1	2		
			心理学概論Ⅱ ※3	1	2		
			臨床心理学Ⅰ ※3	1	2		
	教育心理学Ⅰ ※3		1	2			
	心理学研究法Ⅰ ※3		1	2			
	心理統計法Ⅰ ※3		1	2			
	臨床心理学Ⅱ ※3		2	2			
	教育心理学Ⅱ ※3※4※5		2	2			
	心理学研究法Ⅱ ※3		2	2			
	心理統計法Ⅱ ※3		2	2			
	心理統計法Ⅲ		2	2			
	心理学文献講読Ⅰ ※3		2	2			
	心理学文献講読Ⅱ ※3		2	2			
	心理学英語文献講読Ⅰ		3	2			
	心理学データ解析Ⅰ ※3		2	2			
	心理学データ解析Ⅱ ※3		2	2			
	心理調査作成法Ⅰ ※3		3	2			
	心理調査集計法Ⅰ ※3		3	2			
	人間関係の心理学Ⅰ ※3		2	2			
心のケアの心理学 ※3	2		2				
学習心理学	2	2					
パーソナリティの心理学	2	2					
人間関係の心理学Ⅱ ※3	2	2					
心の発達心理学 ※3	2	2					
消費者行動論 ※3	3	2					
社会心理学 ※3	2	2					
産業・組織心理学 ※3	3	2					
商品開発の心理学 ※3	3	2					



別表1

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			備考
			必修	選択	自由	
授業科目の概要	心身環境専攻 心理コース	カウンセリングの心理学 ※3	3	2		
		感情と行動	3	2		
		ストレス・マネジメント	3	2		
		広告の心理学 ※3	3	2		
		動機づけの心理学 ※3	2	2		
		認知心理学 ※3	3	2		
		心理療法 ※3	3	2		
		学校心理学	3	2		
		精神分析学	3	2		
		心理学基礎実習Ⅰ ※3※8	2	2		
		心理学基礎実習Ⅱ ※3※8	2	2		
		心理演習	4	2		
		心理コース演習(卒業研究)Ⅰ ※3※8	3	2		
		心理学応用実習Ⅰ	3	2		
		心理コース演習(卒業研究)Ⅱ ※3※8	3	2		
		心理学応用実習Ⅱ	3	2		
		心理コース演習(卒業研究)Ⅲ ※3※8	4	2		
		心理コース演習(卒業研究)Ⅳ ※3※8	4	2		
	専攻科目 歴史・文化環境専攻 歴史・文化コース	日本語表現法Ⅰ(音声言語表現)	3	2		
		日本語表現法Ⅱ(文章表現)	3	2		
		日本国憲法 ※4※5	2	2		
		スポーツ実習Ⅰ ※4※5	2	1		
		スポーツ実習Ⅱ ※4※5	2	1		
		日本文学の基礎Ⅰ ※4※5	1	2		
		日本文学の基礎Ⅱ ※4※5	1	2		
		日本の文学(近現代の文学) ※4	2	2		
		日本のことばⅠ ※4※9	2	2		
		中国の文学Ⅰ ※4	2	2		
		書道 ※4	2	2		
		日本のことばⅡ ※4※9	2	2		
		日本の文学(古典文学) ※4	2	2		
		日本文学の歴史 ※4	2	2		
		中国の文学Ⅱ ※4	2	2		
		日本語学演習 ※4	3	2		
		日本の文学演習Ⅰ(現代文) ※4※9	3	2		
		中国の文学演習 ※4	3	2		
		日本の文学演習Ⅱ(現代文) ※4※9	3	2		
		日本の文学演習(古典) ※4	3	2		
		卒業演習Ⅰ(国語) ※4※9	4	2		
		卒業演習Ⅱ(国語) ※4※9	4	2		
		日本史概説 ※4※5	1	2		
		日本古代・中世史	2	2		
日本近世史 ※4※5		1	2			
日本近・現代史 ※5		2	2			
地誌学 ※5		2	2			
人文地理学 ※5		2	2			
アジアの歴史 ※5※10	2	2				
社会学Ⅰ ※5	2	2				
欧米の歴史Ⅰ ※5	2	2				
哲学 ※5	2	2				
法律と生活 ※5	2	2				
社会学Ⅱ ※5	2	2				

別表1

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			備考
			必修	選択	自由	
授業科目の概要	専攻科目 歴史・文化環境専攻 歴史・文化コース	欧米の歴史Ⅱ ※10	2	2		
		政治と国家 ※5	3	2		
		社会・歴史演習Ⅰ ※5※10	3	2		
		倫理学	3	2		
		社会・歴史演習Ⅱ ※5※10	3	2		
		卒業演習Ⅰ(社会) ※5※10	4	2		
		卒業演習Ⅱ(社会) ※5※10	4	2		
		教職概論 ※4※5	1	2		
		教育原論 ※4※5	1	2		
		教材・教具論 ※4※5	2	2		
		国語教科教育法Ⅰ ※4	2	2		
		社会科・地歴科教育法Ⅰ ※5	2	2		
		国語教科教育法Ⅱ ※4	2	2		
		社会科・地歴科教育法Ⅱ ※5	2	2		
		教師と倫理 ※4※5	2	2		
		教育制度論 ※4※5	3	2		
		特別活動指導法(教育課程の意義及び編成の方法を含む) ※4※5	3	2		
		道徳教育の研究 ※4※5	3	2		
		国語教科教育法Ⅲ ※4	3	2		
		社会科・公民科教育法Ⅰ ※5	3	2		
		生徒指導・進路指導 ※4※5	3	2		
		教育相談 ※4※5	3	2		
		事前指導	3	1		
		国語教科教育法Ⅳ ※4	3	2		
		社会科・公民科教育法Ⅱ ※5	3	2		
		学校体験Ⅰ	3	1		
		学校体験Ⅱ	3	1		
		教職演習Ⅰ	3・4	2		
		教職演習Ⅱ	3・4	2		
		教育実習Ⅰ	4	2		
教育実習Ⅱ	4	2				
事後指導	4	1				
教職実践演習(中・高)	4	2				